

◆日本共産党は今年創立104年。暮らし・平和・人権 国民のためにブレずにはたります。

休日当番病・医院

2月22日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 アーク整形外科クリニック ときわ町 68-6111
- ◆歯科 若菜歯科医院 日新町 72-4191

2月23日(月) 天皇誕生日

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 とまこまい脳神経外科 光洋町 75-5111
- ◆歯科 わたなべ歯科 新富町 56-5886

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談

しんぶん赤旗読者のための
親身な相談で定評

2月25日(水)
渡辺達生弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
日本共産党市議団ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

2月市議会 18日開会

小野寺団長が代表質問



2月定例会市議会が18日開会され、予算審議を含めて3月16日に閉会する予定です。日本共産党市議団は小野寺幸恵団長が代表質問に立ち、民主主義と平和、責任ある積極財政と物価高対策などをたずす予定です。

市議団は、市民のみなさんの議会傍聴を呼びかけています。

- 2月
18日 市政方針演説、議案審議
25日～27日 代表質問
- 3月
3日～10日 2026年度予算審議
11日 常任委員会
12日 特別委員会
16日 残余議案質疑

国民を監視・弾圧した歴史的なスパイ防止法は、戦前の軍機保護法にあたる法律で、治安維持法とともに侵略戦争遂行のために国民を監視・弾圧した歴史があります。

トランプ米政権言いに大軍拡と戦争への道を進めるために「国民の目、耳、口をふさぐ」立法にほかなりません。

1985年に国会に提出された「スパイ防止法」(国家機密法)は、統一協会・国際勝共連合と自民党が一体となつて推進しました。今また勝共連合は「今こそスパイ防止法制定を」と全国80力所以上で一斉の街頭演説をするなどして、同法復活に執念を燃やしています。

高市首相は衆院解散後、同政権の「重要な政策転換」の一つとして、「国家情報局の設置」を盛り込み、高市首相は制定が急がれるとされています。

平和憲法支えに希代の悪法阻止しよう

総選挙で圧勝した高市首相が制定に意欲を示す「スパイ防止法」について、政府は課題等を整理しながら検討を開始しているとしています。

自民党、日本維新の会、国民民主党、参政党の4党は衆院選の公約に「スパイ防止法」制定を掲げています。同法は、スパイ機関を創設し、市民のプライバシーを侵害し、表現や報道の自由が制約され、国民を監視・弾圧する戦時立法です。40年前に、廃案になった希代の悪法を4党連合で甦らせようとしています。

自民と維新の連立政権合意に、「国家情報局の設置」「スパイ防止関連法の制定」を盛り込み、高市首相は制定が急がれるとされています。

選挙公約で、自民党は「対外情報機関の設置」を記載。維新も「国家情報局」「対外情報庁」の創設、「スパイ防止法」の制定を掲げています。

国民民主は、「スパイ防止法を含むインテリジェンス態勢整備推進法の制定と情報機

国民を監視・弾圧した歴史的なスパイ防止法は、戦前の軍機保護法にあたる法律で、治安維持法とともに侵略戦争遂行のために国民を監視・弾圧した歴史があります。トランプ米政権言いに大軍拡と戦争への道を進めるために「国民の目、耳、口をふさぐ」立法にほかなりません。

1985年に国会に提出された「スパイ防止法」(国家機密法)は、統一協会・国際勝共連合と自民党が一体となつて推進しました。今また勝共連合は「今こそスパイ防止法制定を」と全国80力所以上で一斉の街頭演説をするなどして、同法復活に執念を燃やしています。

高市首相は衆院解散後、同政権の「重要な政策転換」の一つとして、「国家情報局の設置」を盛り込み、高市首相は制定が急がれるとされています。

9月に北海道のうたごえ祭典

苦小牧で9年ぶり 賛同金協力呼びかけ

「2026年北海道のうたごえ祭典」が、今年9月に苦小牧市で行われます。

苦小牧市での開催は9年ぶり。非核のまちで、いのちのうたごえを響かせようと準備が進められています。会場は、新しく建てられた苦小牧市民文化ホール・マルチホール

祭典実行委員会は、会場費など運営費のための賛同金101000円として、何口でもと協力を呼びかけています。問い合わせは長谷川さん。電話090・6212・6708です。



設置も含めインテリジェンス機能の強化」をあげ、「新たな国づくりを進めてよいのか。国民に直接問いたい」と語りました。しかし選挙中の演説では、同法の成立には全く触れていません。勝てば、白紙委任を与えられたとして強行突破しようという狙いが透けて見えます。

勝共連合も加わった「スパイ防止法」制定連合のたくらみを阻むためにも、国民監視の戦時弾圧法である希代の悪法を葬り去る運動の広がりが急務です。

「高市政権は多数の議席を獲得して強権的に何でもやれるとされていますが、今なお平和憲法は生きています。阻止のために市民とともに反対運動のうねりを広げ、連帯の先頭に立ちたい」と力を込めて語りました。

核兵器禁止条約の批准を 大軍拡反対! 外交で平和を 日本共産党

◆小野寺共産党苦小牧委員長 高市政権の横暴許さない! 日本共産党苦小牧地区委員会の小野寺幸恵委員長(苦小牧市議)は、「スパイ防止法は、戦争する国づくりに欠かせない治安体制に魂を入れ、国民監視を強化しようと言うものを創設すれば、改憲や戦争に反対する人、ビラを撒いたり、集会などを監視・弾圧することは歴史が示しています」

「高市政権は多数の議席を獲得して強権的に何でもやれるとされていますが、今なお平和憲法は生きています。阻止のために市民とともに反対運動のうねりを広げ、連帯の先頭に立ちたい」と力を込めて語りました。

原発に頼らぬ道を選ぼう

札幌イレブンアクション 畠山氏参加

原発問題全道連絡会と国民運動北海道実行委員会は10日、「福島第1原発事故を忘れない」と原発ゼロを訴える「イレブンアクション」を札幌駅前前で繰り広げました。

北海道電力泊原発の再稼働と核のゴミ(高レベル放射性廃棄物)の持ち込みについてのマグネット投票や原発ゼロを求める署名呼びかけました。日本共産党北海道委員会から、畠山和也(元衆院議員)、佐川敏幸両副委員長が参加しました。



原発ゼロ目指す署名訴える畠山氏

頼らない道を選ぼう」と呼びかけました。

「核のゴミなど将来世代にツケをまわすことになる原発は反対」「事故が起きた時のことを考えると再稼働には賛成できない」など投票や署名をする市民が相次ぎ、高齢の女性は衆院選の結果について、「これからの日本社会がどうなっていくか恐ろしく思います」と不安の声を寄せました。

年たつても放射能被害が続くのが原発事故の特徴だと指摘。高市政権のもとで、原発の再稼働や新増設などが進められようとしていると批判し、道内の自治体で進む地産地消の再生可能エネルギーの取り組みを紹介し、「原発に

医療全般の保険外し 拡大の危険 OTC類似薬以外も 患者負担大幅増

医療費の患者負担増を巡り高市政権は、市販薬と同等の効能があるとされる処方薬(OTC類似薬)の大幅患者負担増を狙っており、医療全般の保険外しに道を開きかねない問題をはらんでいます。

国民皆保険の日本では、必要な医療は保険診療でまかなうのが大原則で、保険がきかない医療と保険がきく医療を併用する混合診療は禁止されています。自民党政権は1984年、医療費の抑制を口実に「保険外併用療養」を強行し、例外的規定を設けました。

高市政権のOTC類似薬の見直しは、医師が必要だと判断した薬であっても強引に保険対象から外す、これまでとは異なるものです。日本維新の会が主張していたOTC類

似薬の保険外しは断念に追い込まれましたが、保険対象は価格の75%に限られ、その1/3割の自己負担を課し、残りの25%は保険がきかない「特別の料金」として丸々患者の負担にしようとしています。いったんこの仕組みを導入すれば、数字を操作することで、たやすく患者負担の増大が可能になります。

片山さつき財務相と上野賢一郎厚労相の昨年12月の合意文書は、OTC類似薬以外の薬剤にも「対象範囲を拡大」することや、特別料金の「割合の引き上げ」も明記しています。

愛知や京都の保険医新聞は、保険外しの仕組みが医薬品にとどまらず、「検査などその他の診療行為に導入される

生業と暮らして守るために 消費税減税 インボイス廃止 日本共産党

「療養の給付の空洞化を志向する過去最悪の制度改定となるのは必至」と警鐘を鳴らしています。

高市首相は、保険診療範囲を変更する新たな法改定案の提出を狙っています。皆保険制度を揺るがしかねない国民負担増をくい止める運動が求められます。

ほんの紹介

■自由な時間と『資本論』 志位和夫著(新日本出版社) 1760円(税込) 資本論と遺稿集をもとに、自由に処分できる時間と未来社会についてのマルクスの探究の足跡をたどり、資本主義の必然的没落の根拠としての労働者階級の成長・発展を浮き彫りにします。『共産主義と自由』『いま資本論がおもしろい』の2冊のQ&Aの理論的背景を語った講演などに加筆。知的刺激満載の緑本です!



ブレない共産党への期待感じる

記者あけかけ いわぶち友で

衆議院選挙で、日本共産党と小選挙区候補のみならず、大きなご支援をいただきました。突然の解散と総選挙、しかも大雪のなかでの選挙になりました。ポストを貼る掲示板さえ立てることができない状況のもので、「なぜこんなときに」という怒りの声がどこでも寄せられました。

高市首相は、「国論を二分する政策を進めたい」といいますが、その中身を語りません。自民党は多数の議席を得ましたが、だからといって国民が白紙委任を与えたわけではありません。

選挙中、印象的だったのは街頭での対話でした。「消費税減税をやってほしい」「学費を下げてください」「エンター平等を実現してほしい」など、共産党の政策と相手の思いが合いました。けれども日本共産党の策をもっているか分からないという方が多い。圧倒的に知られていないのです。

田村智子委員長がストーリー対話に取り組んでいたことが話題になりましたが、対話が本当に大事になっていると思います。

相手の思いも聞きながら、多くの方に日本共産党を知ってもらえるように引き続きがんばりたいと思います。

岩淵友(いわぶちとも) 日本共産党参議院議員



選挙結果を福島駅前で報告する(9日)

「非核三原則を守り、実行を求める署名」に「協力をお願いします。」

赤旗日刊紙を友として 月3497円 購読をお勧めします